

# シングルマザーと 孤独孤立について

しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長

赤石千衣子

# しんぐるまざあず・ふおーら むのビジョン

シングルマザーと子どもたち  
が生き生きくらせる社会  
を実現します

ママを応援し社会で活躍できる  
支援を行います



# しんぐるまざあず・ふおーら むの事業

## 就労支援事業

- キャリア支援プログラム「未来への扉」
- オフィスワーク就労支援「明日に花咲く」
- ITスキル支援プログラム「わたし耀く」

## 相談事業

- 電話メール相談
- グループ相談会
- 食料支援

## セミナー事業

- 当事者向け法律講座、エンパワメントセミナー
- 支援者養成講座

## 情報発信事業

子育てシングル応援サイト | イーヨ  
教育費サポートブック

## 子育て支援事業

- 新入学お祝い金事業
- 親子のイベント
- 政策提言

子どもたちが生き生き  
くらせる社会  
シングルマザーと

# ひとり親世帯の現状

ひとり親世帯数 30年間で母子世帯は1.5倍、ただし、最近5年間は減少

- 母子世帯数 84.9万世帯⇒123.2万世帯
  - 同居者あり38.7%
- 父子世帯数 17.3万世帯⇒18.7万世帯
  - 同居者あり55.6%

ひとり親になった理由 離婚80%  
未婚の母 8.7%、死別8%

平成28年度全国ひとり親世帯等調査結果より

# 就業状況

## ひとり親の現状

**○就業率は高い...が**  
**母子世帯の母 81.8% 父子世帯85.4%**  
**(非正規雇用 43.8%)**

(海外のひとり親家庭の就業率) アメリカ (66.4%)、イギリス (52.7%)、フランス (68.8%)、イタリア (71.6%)、オランダ (74.2%)、ドイツ (64.9%)、日本 (85.9%)  
OECD平均 (66.5%) (出典) OECD Family databaseより (2011年の数値。日本の数値は2007年)

**○年間就労収入は低い**  
**母子世帯の母 200万円 父子世帯の父 398万円**  
**子どものいる世帯の平均収入 707.8万円と比較すると**  
**母子世帯収入 348万円 49.2% 父子世帯収入 455万円 81.0%**

# ひとり親世帯の現状

養育費・面会交流

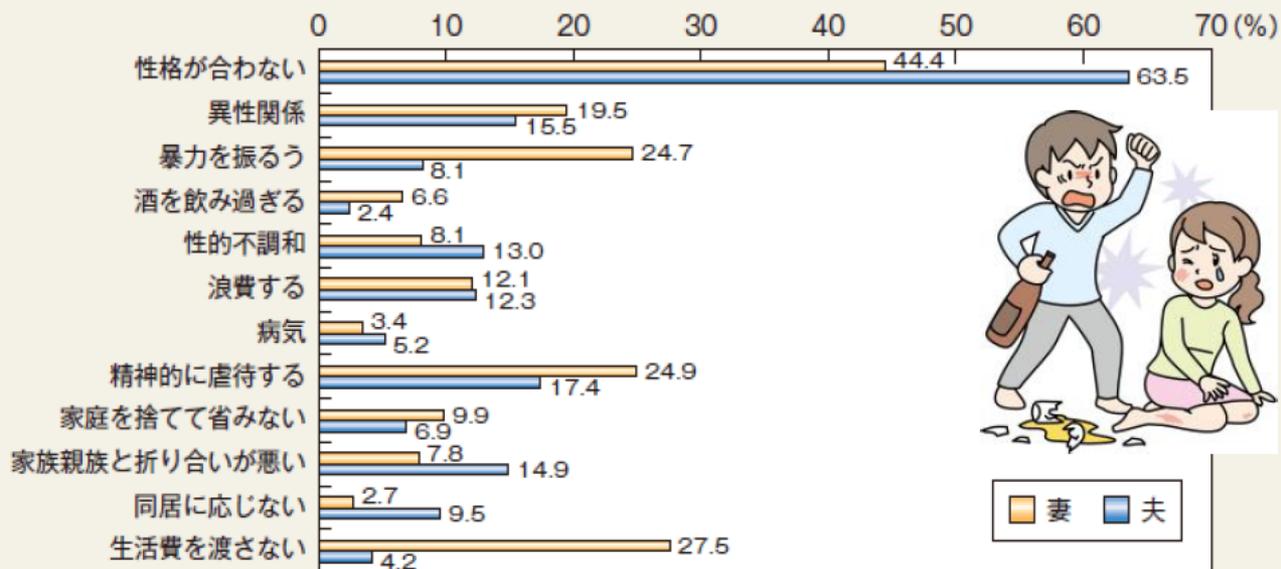
養育費は取得率が母子世帯で約5ポイント上昇。面会交流率など全体に上昇、面会交流率のほうが養育費取り決め率より高い。

	母子世帯	父子世帯
養育費の取り決め率	42.9%	20.8%
養育費の受け取り率	24.3%	3.2%
面会交流の取り決め率	24.1%	27.3%
面会交流の実施率	29.8%	45.5%

平成28年度全国ひとり親世帯等調査結果より

# 婚姻関係事件の申立動機にはDVが多い

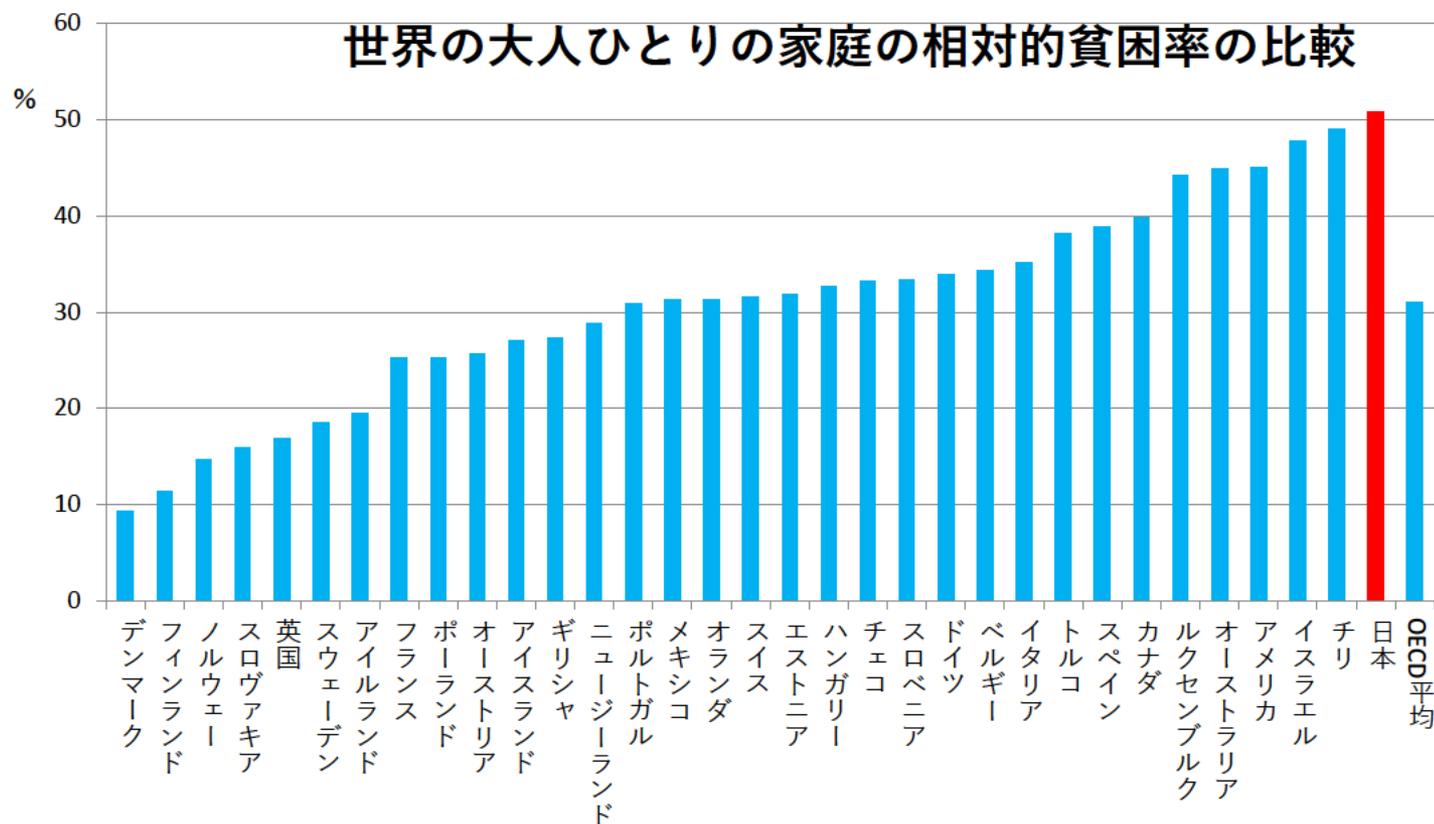
I-4-4図 婚姻関係事件における申立ての動機別割合（平成25年度）



(備考) 1. 最高裁判所「司法統計年報」(平成25年度)より作成。  
2. 申立ての動機は、申立人の言う動機のうち主なもの3個まで挙げる方法で調査し、重複集計したもの。

「男女共同参画白書」平成27年より

# 日本のひとり親家庭の相対的 貧困率は先進国最悪

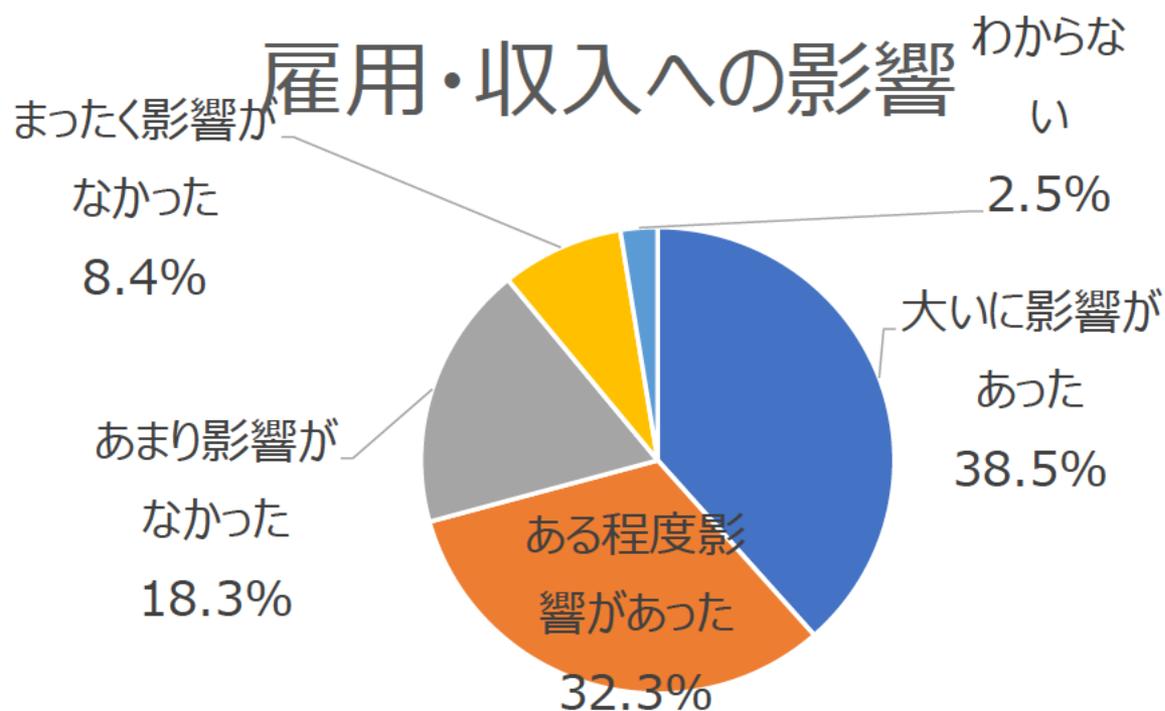


(出典) OECD 2014 Family database "Child Poverty"

(注) ハンガリー、アイルランド、日本、ニュージーランド、スイス、トルコの数字は2009年、チリの数値は2011年

相対的貧困率とは、世帯所得をもとに国民一人ひとりの所得を計算して順番に並べ、真ん中の人の所得の半分に満たない人の割合。

# コロナ期：シングルマザーの7割がコロナによる雇用・収入に影響があったと回答 (7月調査)



「新型コロナウイルス 深刻化する母子世帯の暮らし～1800人の実態調査・速報～」  
8/28/2020 認定NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ&シングルマザー調査プロジェクト

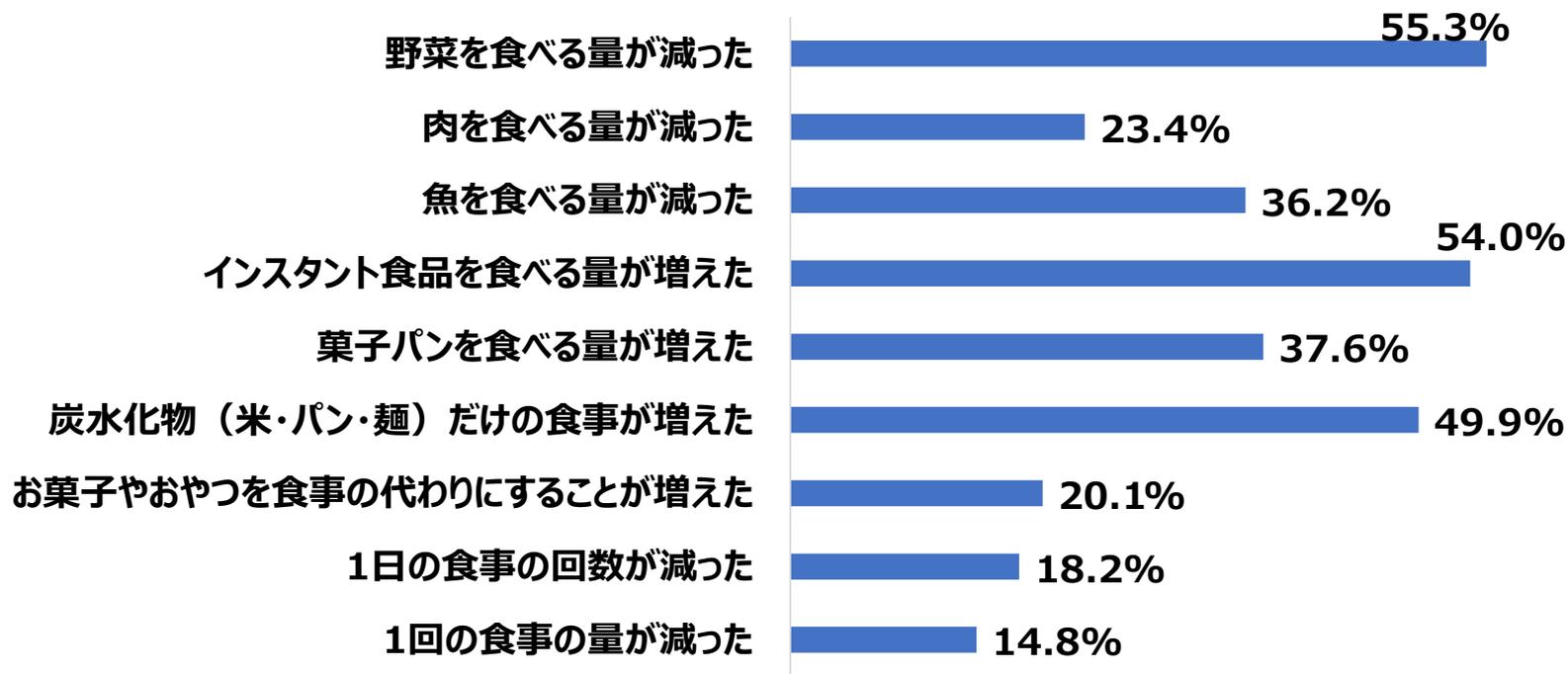
# コロナ期：特にサービス職・販売職・生産工程職などが影響を受けた

表：新型コロナウイルス感染症にかかわる自身の雇用や収入への影響として「収入の減少」があった割合（職業別）

事務職（n=517）	39.1%
サービス職（n=336）	63.1%
専門職・技術職（n=224）	36.2%
販売職（n=139）	55.4%
生産工程職（n=94）	57.4%
運搬・清掃・包装等従事者（n=35）	45.7%

「新型コロナウイルス 深刻化する母子世帯の暮らし～1800人の実態調査・速報～」  
8/28/2020 認定NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ&シングルマザー調査プロジェクト

# 収入減により食費を削るシングルマザーが増え、子どもに影響があった



「新型コロナウイルス 深刻化する母子世帯の暮らし～1800人の実態調査・速報～」  
8/28/2020 認定NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ&シングルマザー調査プロジェクト

# コロナ期：PCやタブレットがない32%、接続量が不足30%

図15: 中学生以上の子どものいる世帯のPC/タブレットの普及状況

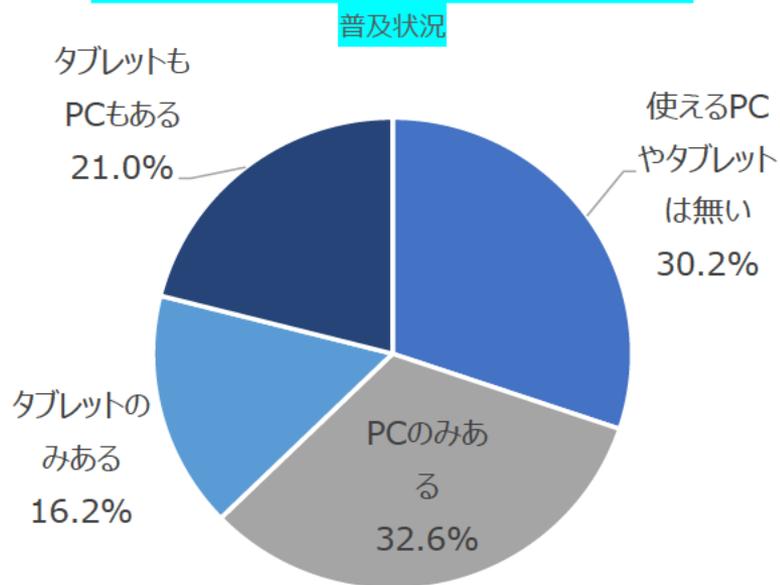
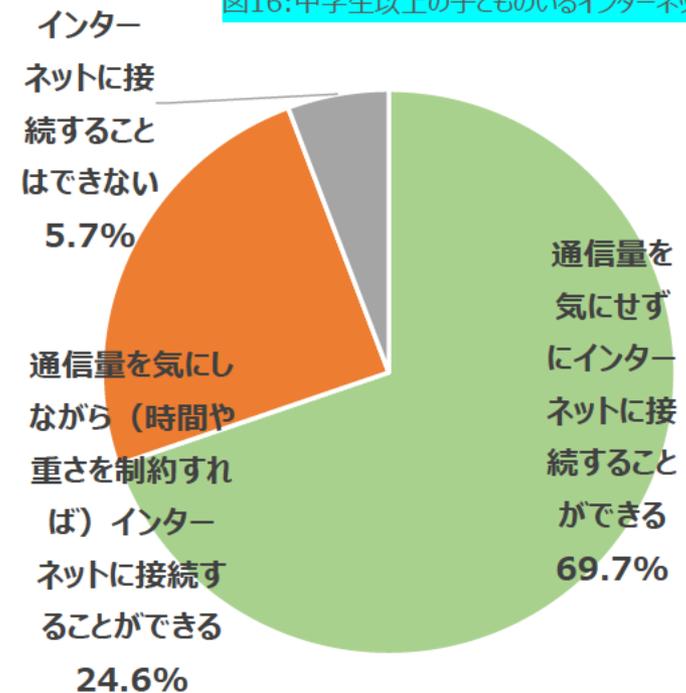


図16: 中学生以上の子どものいるインターネット環境



「新型コロナウイルス 深刻化する母子世帯の暮らし～1800人の実態調査・速報～」  
8/28/2020 認定NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ&シングルマザー調査プロジェクト

# 日本におけるシングルマザー\_1

- 就労率が高いが就労収入が低い  
→ お金がない、時間がない  
友人、知人とつきあう時間、お金の余裕がない  
情報をとりにいく時間がない
- インターネットには正しい情報があるとは限らない  
ネットの情報にふりまわされやすい  
→ 自分と子どもににかかわる情報でも正しい情報が得にくい  
例：「中学のときの奨学金の学校推薦がもらえず奨学金がもらえなかった。だから大学に入っても奨学金はもらえないのだろう」

# 日本におけるシングルマザー

\_2

- 出現率はそれほど高くない
  - 少数派である（学校、保育園、幼稚園、職場）
  - 同じ立場の人と出会ったことがない
  - 自分がシングルマザーであることをカムアウトしにくい →孤立
- DV被害を受けて離婚している親子が3～4割
  - 自分の事情を人に言うことは危険
  - 知人親族に理解してもらえない（「いい旦那さんでDVをふるうようには見えないわ」）
  - メンタルヘルスの悪化
  - 孤立

# 日本におけるシングルマザー

\_3

- 自己尊重感を奪われて生きづらくなっている
  - 「わたしがダメだから」
  - 「わたしの努力が足りなかったから」
  - 「子どもに申し訳ない」
  - 「子どもが後ろ指さされてはいけない！」
  - （だからしつげなきゃ）
- 心身の健康度が高くない

# 日本におけるシングルマザー

\_4

- 自己責任だから（離婚を選んだのは自分だから自分ひとりでがんばるべき）

助けをもとめてはいけない

相談先は親族知人で公的な相談窓口ではない

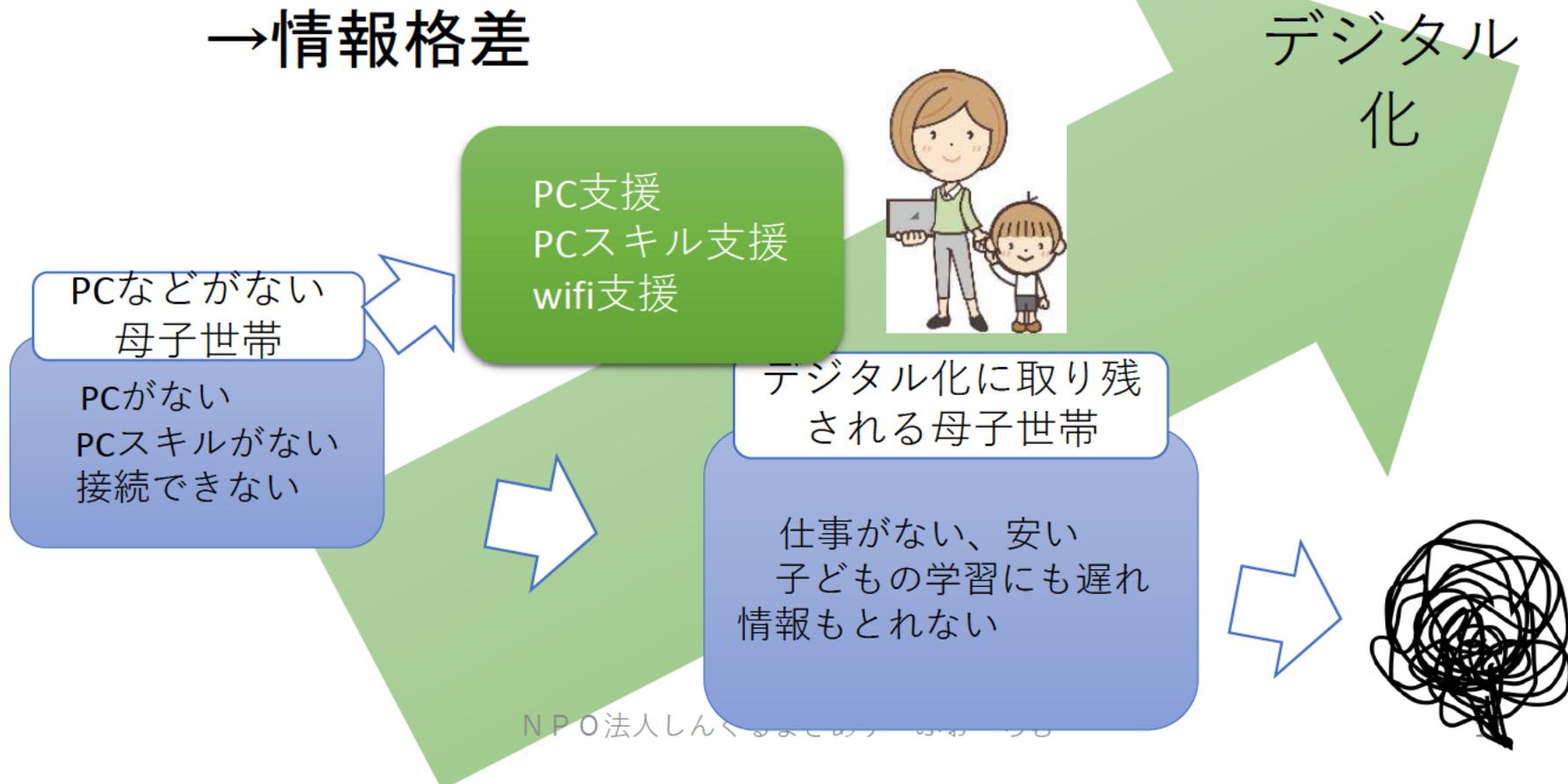
「ほんとうに自立している人というのは助けて  
と言える人だよ」

「助けてもらったなら恩送りしてね」

# 日本におけるシングルマザー

\_5

- デジタル格差 PCをもっていない人が多い
  - 検索機能を利用できない人もいる
  - 情報格差

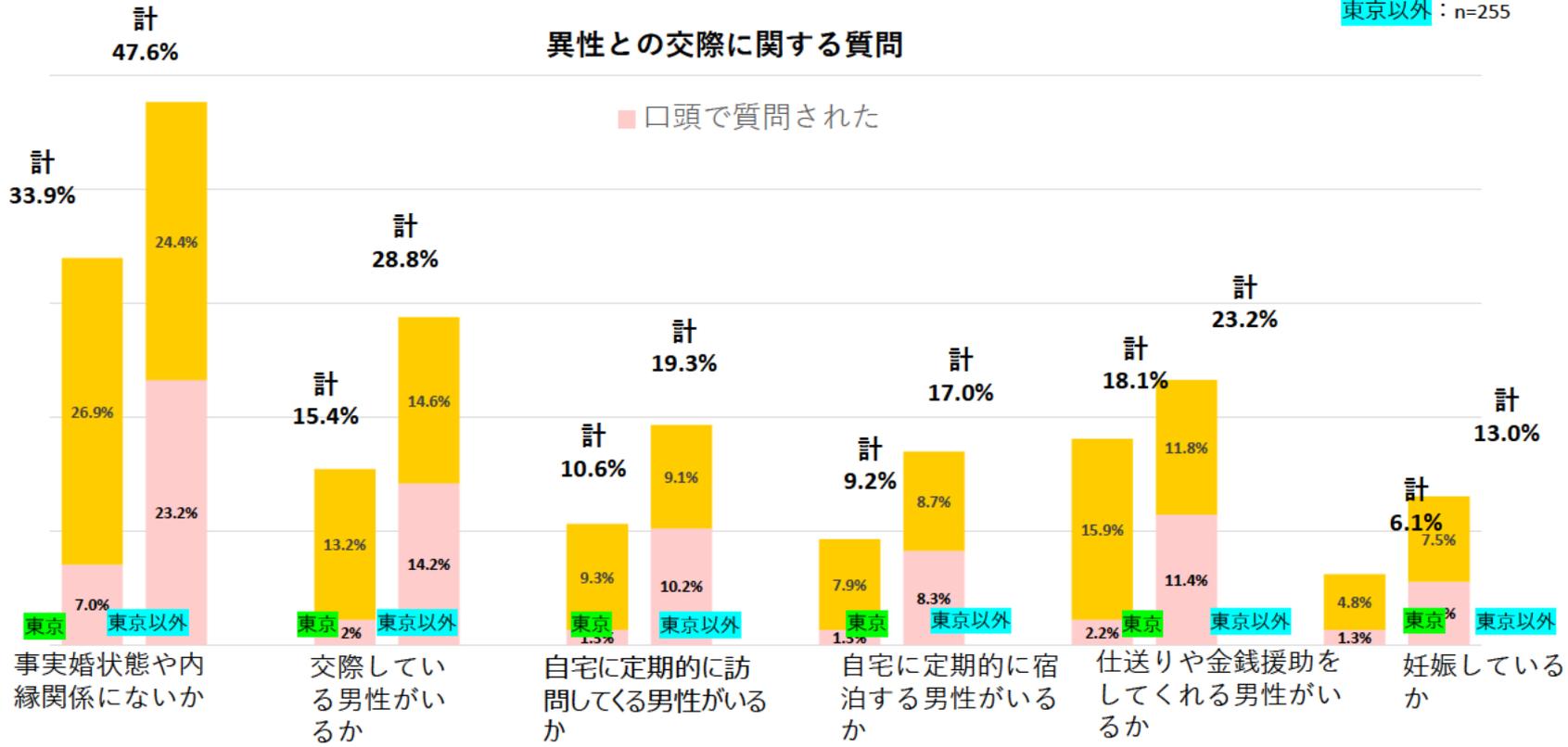


# 日本におけるシングルマザー\_6

## 公的機関の心ない一言が孤立を招く

東京 : n=229  
東京以外 : n=255

異性との交際に関する質問



- ✓ 東京より**東京以外**のほうが、**交際に関する質問をされた割合が高い**
- ✓ 児童扶養手当の制度は全国一律だが、運用場面では**自治体による差**が大きい

## (6) ひとり親にとっての児童扶養手当の窓口 (2/4)

自治体の児童扶養手当の窓口を、当事者がどう意識しているか、尋ねました。(4つの設問の1.2.)

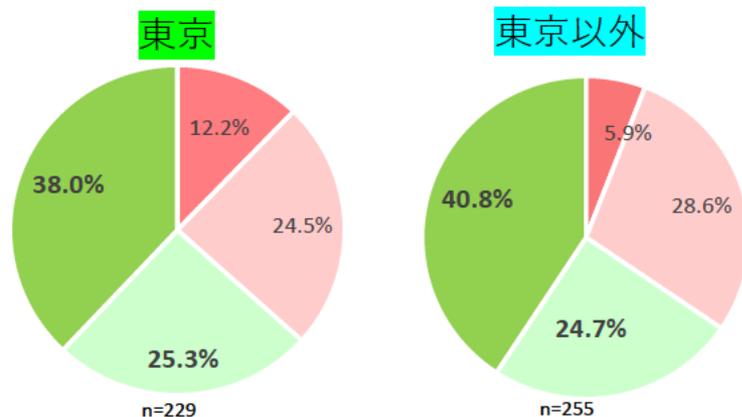


あなたにとって、役所の児童扶養手当の窓口はどういうところですか。

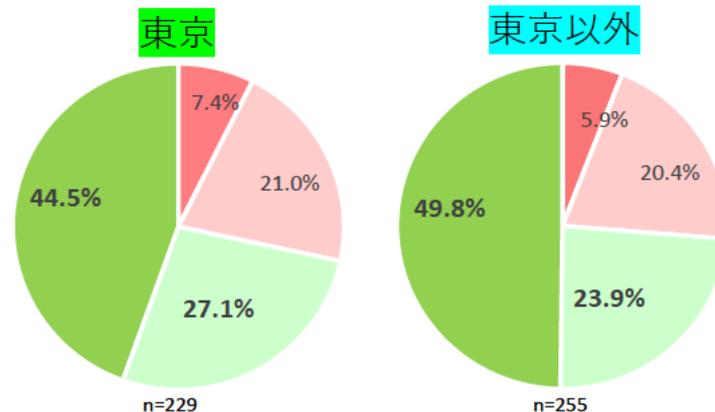
データ: 2020年9月パネル調査

■ そう思う   ■ どちらかといえばそう思う   ■ どちらかといえばそう思わない   ■ そう思わない

### [1. 困ったときは相談できる]



### [2. 悩みを相談したら助けてくれる]



困ったときは相談できる

「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」

東京  
63.3%

東京以外  
65.5%

窓口で相談できるとは思わない人

# 6割超

悩みを相談したら助けてくれる

「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」

東京  
71.6%

東京以外  
73.7%

窓口で助けてくれるとは思わない人

# 7割超

## (6) ひとり親にとっての児童扶養手当の窓口 (3/4)

自治体の児童扶養手当の窓口を、当事者がどう意識しているか、尋ねました。(4つの設問の3.4.)

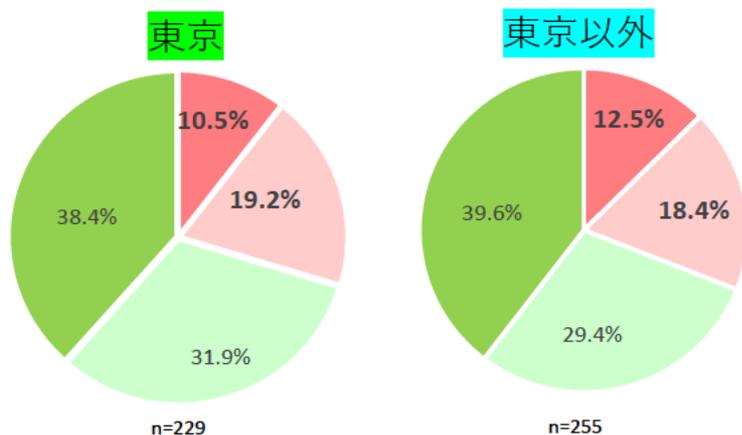


あなたにとって、役所の児童扶養手当の窓口はどのようなところですか。

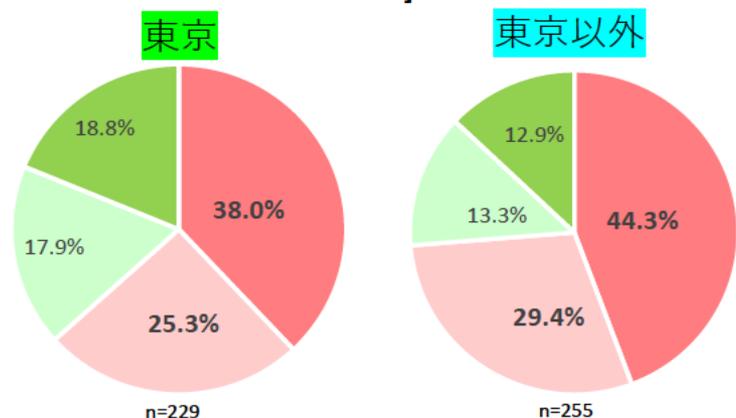
データ: 2020年9月パネル調査

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

[3. 嫌な思いをしたり屈辱的な扱いを受ける]



[4. 必要だから行かざるをえないが、できるだけ行きたくない]



嫌な思いをしたり屈辱的な扱いを受ける

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」

東京  
29.7%

東京以外  
30.9%

窓口で嫌な思いをしたり屈辱的な扱いを受けると思っている人

約3割

必要だから行かざるをえないが、できるだけ行きたくない

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」

東京  
63.3%

東京以外  
73.7%

できるだけ窓口に行きたくないと思っている人

6割超

# まとめ

時間がない

経済的困窮

DV被害による  
離婚

公的窓口の心  
ない対応偏見

自己尊重感が  
低い

同じ立場の人と  
出会いにくい

自己責任論  
内面化

デジタル  
格差

ネットにふりま  
わされやすい

孤立孤独



# 対策

時間がない

経済的安定

DV被害後の継続的支援

窓口職員の研修

自己尊重感が低い

ママ同士の出会いの場づくり

自己責任論内面化

PC支援

確かな情報サイト

孤立孤独

安心安全

注 地域包摂型の支援と聞くと、学校区などの地域単位の中でプライバシーをさらけ出すのはシングルマザーの場合無理ではないかと思っている。

# ひとり親のための情報サイト「イーヨ」 確かな情報と安心感を届けたい！



## 補足：2020年8月中の地域の暮らしや公共の場（役所、学校、保育園など）において、周りの人たちからの嬉しかった行動や、励まされた言葉

- お母さん、頑張ってるね！
- 市役所のひとり親相談窓口の方には、子どもの高校進学時にはとても親身に接して頂き、進学準備金などの際に、転職したことを伝えたら、本当に頑張ってますね！良かったですね！と言って貰えました。
- 失業し、基礎疾患の持病があるため、自粛生活を余儀なくされて、人との関わり合いが極端に減ってしまったため、最近、家族以外の人との交流がなくなりました。団体のメールマガジンが届くと、とても嬉しいです。
- しんぐるまざーふぉーらむからの食品支援
- 地域の方からひとり親の支援食材を頂いた
- 保育園のお友達家族と公園で会うと、一緒に遊んでくれることです。離婚したからといって差別したりせず、離婚前と変わらない態度で接してくれます。役所の方々もとても親切で、追加給付金も申請するつもりはなかったのですが、少しでも減ったのなら申請しても大丈夫ですよと言ってくれたので、申請させて頂きました。地域の人達に恵まれていて、感謝の気持ちでいっぱいです。

新型コロナウイルスの影響によるシングルマザーの就労・生活調査（毎月パネル調査（第2回）2020年9月調査）より

## 8月中の地域の暮らしや公共の場（役所、学校、保育園など）において、周りの人たちからの悲しかった言動や、悔しかった言葉

- いつも慌ただしく走っている人だね。
- 区役所の窓口の態度
- うちの子は不登校なのですが、学校で三者面談があり他の生徒もいる時間帯に設定され、本人は参加しませんでした。先生も忙しいとは思いますが、学校側にももう少し配慮があれば本人も面談できたのではないかと思い、悔しいです。
- フードバンクでの食糧支援の際、保険証でこどもの人数など毎度確認されることが、仕方のないことなのだろうけど、ただでさえ惨めな思いをしながら受け取りに向かっているのに、とても辛い気持ちになる。
- 「お困りの方は、、、」と役所に書いてあってもいつも解決とはならない、、、片親だからしかたないね、、、くらいの扱い。またはハードルの高い審査があるので結局サポートは受けられない。
- 困りごとなどで、「他機関を紹介して下さるだけで、あとはご自分で電話してやってくださいよー」的な対応が多い実感です。が、心身ともに疲れ切っているシングルマザーは、「はい」と言っても、心が折れて結局諦める人が多いのではと思います。
- 施設長のパワハラが酷いが、仕事を辞めたら子供達を育てられないと思うと仕事が辞められない。心身共に衰弱しそうだ。

新型コロナウイルスの影響によるシングルマザーの就労・生活調査（毎月パネル調査（第2回）2020年9月調査）より